

第9回 総務建設常任委員会

開催日	令和4年7月27日（水曜日）	
開催場所	粕屋町役場 3F 31会議室	
開催時間	13:00～14:25	
出席者	議員	末若委員長・山脇委員・川口委員・安藤委員・鞭馬委員・案浦委員・田代委員
	事務局	藤川局長
	担当課	なし
欠席者	杉野副委員長	
審査項目	<p>協議事項</p> <p>1) タブレット端末導入に関する報告について</p> <p>須恵町、福津市、新宮町の視察及び実機を使用したデモンストレーションを受けた結果に基づき、委員会としてタブレット端末の必要性についての提案書を議長に提出するという事で、委員長より提案書の案が示され、内容について説明が行われた。</p> <p>なお、福津市、新宮町の視察報告書については、通常どおりホームページにて公開するために、本日は欠席しているが杉野副委員長がまとめており、そちらは改めて委員に配布することとした。</p> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none">・導入に関しては、いいことばかりが書いているようだが、課題等についても記載の必要があるのではないか。通信費については、公費での負担に限度があり、それを越えた分は自費となっているところもある。また、その分を当町にはないが、政務活動費で対応しているところもある。そのような課題もあるのではないか。・セキュリティについても、今後どこまで縛っていく必要があるのかさらに検討の必要がある。 <p>協議の結果、通信費及びセキュリティ等に関する事項の課題について記述を追加することとした。</p> <p>なお、提案書修正分及び福津市・新宮町の視察報告書をメール等で共有し、最終的に委員全員の承諾を得られた段階で、須恵町視察報告書と合わせて議長あてに提出することとし、議長への提出日時についてはその段階で決定することとした。</p> <p>また、世界的な半導体不足の問題で端末の手配に時間がかかっているということから、可能な限り早い予算計上を併せて提案していくこととした。</p>	

審査項目

2) 大網白里市視察研修について「市制に向けた議会の動き」

○追加質問について

10月19日の視察における質問内容について、委員長より那珂川市との比較を実施する観点から、基本的には同じ内容の質問としたいが、追加すべき事項があれば提案いただきたいとの要望がなされた。

協議の結果、以下の質問を追加することとした。

- ・市制施行後、地方交付税等はどう変わったか。どの分野が増えたのか。
- ・人口増のための取組は。
- ・市制施行後の人口減の要因は。またその影響は。

なお、質問は、各自那珂川市視察時の報告書に改めて目を通していただき、上記以外の質問事項がある場合は8月15日頃までに事務局へ連絡することとした。

3) 総務省視察研修について「市制に関する国の考え」

○質問について

各委員に総務省に対する質問事項について意見を求めた結果、以下のような質問が提案された。

- ・合併による市制施行に比べ、単独での市制施行には支援が少なく感じるが、実際にどのような支援策があるのか。
- ・地方交付税の算定に関して配慮はあるのか。
- ・国から見た粕屋町の状況はどのように感じるのか。(市制を敷くべきか?)
- ・国が考える市制のメリット、デメリットは。
- ・現状市制を敷いている自治体でも基準となる人口5万人を大きく割り込んでいる自治体もある。国としてはこの状況をどのように考えるのか。また今後どうするのか。
- ・伸びている自治体は交付税が少なくなると思うが、努力している自治体に対する支援は。

総務省に対する質問についても、上記以外の質問があれば大網白里市への質問と同様に8月15日に事務局まで連絡いただくこととした。

○その他

視察の日程について、日程表をもとに10月19日、20日の行程について委員長より説明がなされた。

また、2日目の日程に余裕があるため、委員長より追加の視察先について提案が求められ、JRが無人駅を自治体に移管する関係で、東京都の蒲田に、自治体職員向けの駅員の養成施設等の提案がなされた。

追加の視察先については、今後検討することとした。

その他

- ・タブレットについては議長に提案をもって当委員会での協議を終了する。また、市制に関しては今年度中に取りまとめを行いたい。

審査項目	<ul style="list-style-type: none">・ 9月議会においては、次年度の視察及び閉会中所管事務調査内容について協議し、予算要求を行う予定。・ 都市政策部上下水道課、地域振興課の井堰管理のフローチャートが提出されるということであったが、その後の動向について確認を行うこととした。
その他	なし